

製品安全データシート

P. 1/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日
MC1LM05

1. 製品および会社情報

製品名

エプソンインクカートリッジ MC1LM05

会社情報

販売会社 : エプソン販売株式会社
 住所 : 〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 24F
 電話番号 : 03-5321-4111(代) FAX 番号 : 03-5321-4198

製造業者 : セイコーエプソン株式会社
 住所 : 〒399-0785 長野県塩尻市広丘原新田 80 番地

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-------------------|-------|
| 物理化学的危険性 | |
| 引火性液体 | 区分外 |
| 人健康有害性 | |
| 急性毒性(経口) | 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| 急性毒性(吸入:気体) | 分類対象外 |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | 区分外 |
| 急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) | 区分外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分外 |
| 呼吸器感受性 | 区分外 |
| 皮膚感受性 | 区分外 |
| 生殖細胞変異原性 | 区分外 |
| 発がん性 | 区分外 |
| 生殖毒性 | 区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) | 区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) | 区分外 |
| 吸引性呼吸器有害性 | 区分外 |
| 環境有害性 | |
| 水生環境急性有害性 | 区分外 |
| 水生環境慢性有害性 | 区分外 |

GHSラベル要素

| | |
|---------|----|
| 絵表示 | なし |
| 注意喚起語 | なし |
| 危険有害性情報 | なし |
| 注意書き | なし |

製品安全データシート

P. 2/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日

MC1LM05

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

水溶性インクの成分表 (* は当社の機密情報のため開示できません)

| 化学名 | 含有量 (wt%) | 官報公示整理番号 (化審法 ⁽¹⁾ 安衛法 ⁽²⁾) | CAS No. ⁽³⁾ |
|----------------------|--------------|--|------------------------|
| 色材 * | < 1 | — * | — * |
| トリエチレングリコールモノブチルエーテル | 約 5 | (2) - 436 | 143-22-6 |
| エチレングリコール | 約 10 | (2) - 230 | 107-21-1 |
| ジエチレングリコール | 1 - 5 | (2) - 415 | 111-46-6 |
| トリエタノールアミン | < 1 | (2) - 308 | 102-71-6 |
| 有機成分 * | 1 - 5 | — * | — * |
| グリセロール類 * | 約 15 | — * | — * |
| 水 | 残余 | 対象外 | 7732-18-5 |

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合 : 直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けてください。
- 応急措置をする者の保護 : 特になし
- 医師に対する特別注意事項 : なし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 化学消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法 : 吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いとおもわれます。
- 消火を行う者の保護 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 引火性 : 引火性はありません。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流してください。
- 保護具と緊急時措置 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 環境に対する注意事項 : 下水に流さないでください。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

製品安全データシート

P. 3/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日

MC1LM05

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 局所排気・全体換気 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 注意事項 : 眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。また、インクを飲まないようにしてください。
- 接触回避 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 安全取扱い注意事項 : 子供が誤ってインクを飲まないよう、子供を近づけないでください。カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが濡れていないことを確認してください。カートリッジを分解しないでください。カートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。

保管

- 保管条件 : 直射日光を避け、常温常湿で保管してください。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。
- 容器包装材料 : 適用外(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 :

| 製品 | 安衛法 管理濃度 | 日本産業衛生 学会勧告値 | ACGIH TLV ⁽⁴⁾ | OSHA PEL ⁽⁵⁾ |
|---------------------|-------------|-----------------|--------------------------|-------------------------|
| インクジェットプリンタ用 インク | 設定なし | 設定なし | 設定なし | 設定なし |

| 成分 | 安衛法 管理濃度 | 日本産業衛生 学会勧告値 | ACGIH TLV ⁽⁴⁾ | OSHA PEL ⁽⁵⁾ |
|-------------|-------------|-----------------|--------------------------|-------------------------|
| エチレングリコール | 設定なし | 設定なし | 100mg/m ³ | 設定なし |
| グリセロール(ミスト) | 設定なし | 設定なし | 10mg/m ³ | 15mg/m ³ |

設備対策 : 必要としません。

保護具

- 呼吸器の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 手の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 眼の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 皮膚及び身体の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

製品安全データシート

P. 4/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日

MC1LM05

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|---|
| 外観(形態、色) | : 赤色液体 |
| 臭い | : わずかな臭い |
| pH | : 9.7±0.7 (at 20°C) |
| 融点・凝固点 | : 有効データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : 有効データなし |
| 引火点 | : 95°Cまでの測定において検出されない(closed cup, ASTM D3278) |
| 引火性 | : 可燃物ではない |
| 爆発範囲 | : なし |
| 蒸気圧 | : 有効データなし |
| 蒸気密度 | : 有効データなし |
| 比重(密度) | : 約 1.07 |
| 溶解度 | : ∞ |
| n-オクタノール/水分配係数 | : 有効データなし |
| 蒸発速度 | : 有効データなし |
| 燃焼性(固体・ガス) | : なし |
| 粘度 | : 5 mPa·s 以下 |
| その他のデータ | : なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--------------------------|
| 安定性 | : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。 |
| 危険有害反応可能性 | : 常温では反応性はありません。 |
| 避けるべき条件 | : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。 |
| 混触危険物質 | : 酸化剤、爆発物 |
| 危険有害な分解生成物 | : 常温では分解しません。 |

11. 有害性情報 労働省の有害基準⁽⁶⁾については 16. その他を参照のこと

急性毒性

:

| 経口LD 50 ⁽⁷⁾ | 経皮LD 50 ⁽⁷⁾ | 吸入LC 50 ⁽⁸⁾ |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| >2000 mg/kg (ラット) | >2000 mg/kg (ラット) | データなし |

| | | |
|----------------|---|--------------------|
| 皮膚腐食性・刺激性 | : Non irritant (ラビット) | OECD ガイドライン No.404 |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | : Mild irritant (ラビット) | OECD ガイドライン No.405 |
| 呼吸器または皮膚感作性 | : なし (モルモット) | OECD ガイドライン No.406 |
| 生殖細胞変異原性 | : 陰性 (エームズ試験 ⁽⁹⁾ による) | |
| 生殖毒性 | : EU 指令 1999/45/EC に基づいた危険分類に該当しません。 | |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 有効データなし | |
| 慢性毒性・長期毒性 | : 有効データなし | |
| 発がん性 | : IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ 1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。 | |

製品安全データシート

P. 5/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日

MC1LM05

12. 環境影響情報

| | |
|---------|----------------------------|
| 生態毒性 | : 環境への影響について、有効なデータはありません。 |
| 残留性・分解性 | : 環境への影響について、有効なデータはありません。 |
| 生体蓄積性 | : 環境への影響について、有効なデータはありません。 |
| 土壤中の移動性 | : 環境への影響について、有効なデータはありません。 |

13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなってください。
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------|-----------|
| 国際規制 | : 該当しません。 |
| 国連番号 | : 該当しません。 |
| 品名(国連輸送名) | : 該当しません。 |
| 国連分類 | : 該当しません。 |
| 容器等級 | : 該当しません。 |
| 海洋汚染物質 | : 該当しません。 |

15. 適用法令

| | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| 消防法 | : 該当しません。 |
| 労働安全衛生法 通知対象物 | : エチレングリコール(75)、トリエタノールアミン(381)を含有します |
| 化学物質排出把握管理促進法 ⁽¹⁰⁾ | : 該当しません。 |
| その他 | : 該当しません。 |

16. その他の情報

- (1) 化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- (2) 安衛法: 労働安全衛生法
- (3) CAS No.: Chemical Abstracts Service Registry Number
- (4) ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生
専門家会議)で定めた Threshold Limit Value(許容濃度)
- (5) OSHA PEL: Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めた
Permissible Exposure Limit(許容暴露限度)
- (6) 労働省の有害基準: 労働省通達基発第 395 号(H 4-7-1) 化学物質などの危険有害性
試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準

| | | |
|---------------|-----------|-------------|
| 有害基準として: 経口毒性 | : (LD 50) | 500 mg/kg以下 |
| 吸入毒性 | : (LD 50) | 20 mg/L以下 |
| 皮膚刺激性 | : 紅斑 | 2 以上(平均) |
| | 浮腫 | 2 以上(平均) |

製品安全データシート

P. 6/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 23日
MC1LM05

眼刺激性 : 角膜 2 以上(平均) 虹彩 1 以上(平均)

結膜発赤 2.5 以上(平均)

結膜水腫 2 以上(平均)

皮膚感作性 : 30%以上(アジュバンド有り)

変異原性 : 労働省告示第 77 号 変異原性が認められその比活性が
被験物質 1 mgあたり 1000 以上

(7)LD50: Lethal Dose 50 50%致死量

(8)LC50: Lethal Concentration 50 50%致死濃度

(9)エームズ試験: 微生物(サルモネラ、大腸菌など)を用いる変異原性試験

(10)化学物質排出把握管理促進法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の
改善の促進に関する法律

<引用文献>

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に指定された通常の下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。